

令和4年度



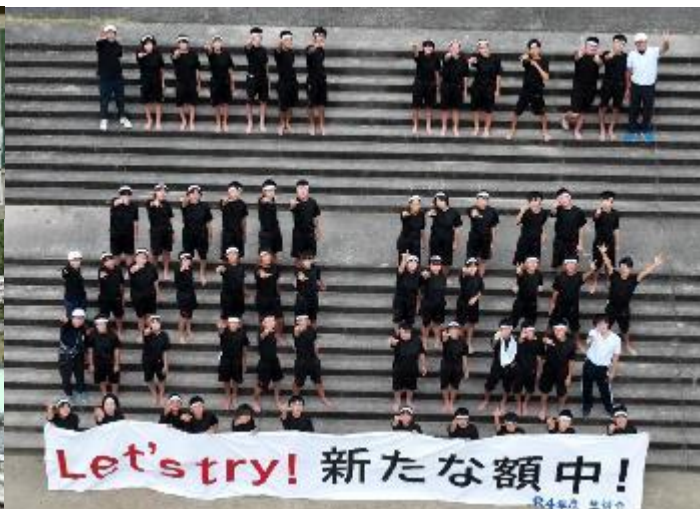
継承と創造

額田中学校 校長室だより



9月22日
(木)

第14号



開校五十周年記念 体育大会

猛烈な台風十四号の接近に伴い、開催が危ぶまれた体育大会でしたが、額中生の熱気で吹き飛んだかのような晴天に恵まれ、予定通り実施の運びとなりました。練習時間確保のため、一日の日課を見直し、帰りに応援練習の時間を確保し、限られた時間を工夫して使い、演技を仕上げてきました。生徒の頑張り、先生方の熱意ある指導のおかげで開校五十周年の体育大会を終えることができました。

「みんなと一緒に頑張ることが楽しい」「思い切りやれて気持ちがいい」という感想と共に、「一生懸命になることはカッコいいんだ」という、額中の文化が築かれていくのを感じました。本年度は参観者の人数制限も行わず、多くの方に見ていただけたことも嬉しく思いました。ありがとうございました。

多くの人の手によって



令和四年度の体育大会も、準備から片付けまで、多くの人の手によってつくり上げることができました。準備に携わった全校生徒、職員はもちろん、額中お助け隊の除草ボランティアに参加した皆さん、毎日、環境整備で汗を流した校務員さん、駐車場係を始めとするお手伝いをしてくれた寮職員の皆さん、駐車場を貸してくださった育苗センター、エールの指導をしてくださった我無沙羅の皆さん・・・。

こういった行事を行う度に、支えていただいた方の力の大きさを感じます。ご厚意に感謝申し上げます。

数学科指導員訪問 九月二十二日(木)



体育大会代休が明け、次の三連休前日となる二十二日(木)には、城南小学校から岡崎市算数・数学科指導員の先生が額田中を訪れ、授業の指導をしていただきました。

研究授業は一年一組で、先生が数学の授業を行いました。問題文からわからない数を見付け、方程式を立式する授業です。先生は、教室に入るなり、「素敵なあいさつですね」と褒めてくださいました。

一年生は、入学してまだ半年しか経っていないにもかかわらず、CRSの授業の基本が身につけているのがわかりました。たいへん活発に自分から発話することができました。話し合いの中では、「あれっ。それ、どういう

意味」「うーん。まだちょっとわからないな」「まって。もう一度言ってみて」という言葉が自然に出ていました。これらの言葉が、CRSではとても重要です。「自分がどこまでわかっていて、どこからわからないのか」「納得がいけない理由は何か」がわからないまま、そのままにしてはいけません。こんな時は、素直に自分の状態を相手に伝えることが必要です。これが自然にできるようになると、その時の自分の状況に合った学びができるようになります。

他にも、二年生で先生と先生の授業を参観していただきました。どの授業も、生徒の皆さんの学び方がよいと、褒めていただきましたよ。